

Q 令和8年度の介護職員等処遇改善加算の改定実施について、①サービス利用料の利用者負担は増加するのか。②ICT導入、ケアプランデータ連携、生産性向上などに取り組む上で、小規模事業所が抱える課題についてどのように認識しているのか。③ICT導入に関する情報提供、好事例の共有など、介護事業所への伴走支援の考えは。

A ①介護サービス費用の総額が上がり、それに伴って利用者の自己負担額も増加します。②小規模事業所においては、システム導入を進めるための人的な余力がなく、現場の負担が大きいと認識しています。③デジタル化は不可欠であり、市としても重要であると考えます。国や県の最新情報や市内の成功事例の共有を通じて事業所の不安を解消していきます。

介護現場や若者への市の伴走は

太陽クラブ
松本 喜美

介護分野におけるテクノロジーの活用例

スマートフォンを活用した記録・入力省力化	インカムを活用したコミュニケーションの効率化	移動支援機器を活用した従事者の負担軽減
センサーを活用した見守りによる省力化・ケアの質向上	センサーを活用した排泄予測による省力化・ケアの質向上	情報の収集・蓄積・活用によるケアの質向上

親、若者に対する相談体制について、①不登校以外の相談件数とその内容は。②件数をどう評価しているのか。

A ①令和7年度にことも相談支援課が受け付けた件数は271件で、相談内容は家庭不和、対人関係、心身の不調などが主なものです。②相談件数の多寡で評価することは難しいと考えますが、一定の役割を果たしていると認識しています。

Q 昨年、地元滋賀県で開催された国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会は、無事終了し、一定の成果をもたらしたと感じている。

大会を検証し、本市のスポーツ事業や観光誘客につなげる必要があると考えるが、①総評および今後の動きは。②来訪者増加に向けた新たな施策は。

A ①国スポ開催に当たり、能登川アリーナの新築、布引陸上競技場の電光掲示板の新設、能登川グラウンドの芝生化、湖東スタジアムの改修、伊庭内湖や能登川水車とカヌーランドの整備など、施設を充実できたことは大きな成果であり、スポーツ人口増加とスポーツ振興に生かしていきます。

また、本市開催種目の自転車とカヌーについては、大会を契機として本市に競技団体が設立されました。今後は競技会や体験教室の開催により、活性化



国民スポーツ大会 カヌー(スプリント)

一般質問

6月11日、12日、15日に21人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁の概要をお知らせします。また、議会ホームページでは、インターネットによる動画配信も行っています。

質問席

二次元コードを読み取ることで、各議員の質問の様子を映像にてご覧いただけます。

Q 近年の夏の気温上昇、こどもの家(学童保育)の利用増による集団下校時の児童数減など、子どもたちを取り巻く通学環境は大きく変化している。さらには今後、小学校の統合による通学距離の変更も予測される。これらを鑑み、これまでの通学に対する考え方を根本的に見直さなければならない時期にきていると考えるが、①本市における通学距離の考え方は。②スクールバスの稼働の現状、利用状況は。③公共交通を利用して通学している児童数は。④統合による長距離通学についての市の考え方は。

A ①片道4キロメートル、おおむね1時間以内という文部科学省の基準に従って運用しています。②山上小学校と永源寺中学校で2台稼働し、小学校で22人、中学校で3人が利用しています。



午前8時、気温30度

また、能登川東小学校で1台稼働し、利用人数は15人です。③129人です。④通学バスの利用については、通学距離が1、2学年の児童で3キロメートル以上、3学年以上の児童で4キロメートル以上としています。

学校統合になった場合も要件に該当する児童については、通学バスのほか、ちよこつとバス、ちよこつとタクシー、路線バスなど既存の公共交通機関を利用することになります。

太陽クラブ
戸嶋 幸司

根本的な改革が必要

